みかえり　第342号

「日々是好日」

六十才の定年を迎えた途端に、亡くなってしまった男性がいました。すると、「これから、悠々自適の人生があったはずなのに」という声が聞こえてきます。

でも、その六十年の生涯は、一日一日がむなしいものではなかったはずです。

時間の長短ではなく、この一瞬を大切に生きることに、人生の意味があるのです。

「日々是好日」とは、将来に何かいいことがあると期待する人生ではなく、いまこの一瞬を喜べる人生を教えています。

総本山　永観堂　禅林寺

右の色紙は**管長 小木曽善龍猊下のご染筆**です。前々号の色紙は、兵庫県高砂市在住古賀真理子様に贈呈いたします。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年齢明記の上、下記へお申し込み下さい。二月十五日に、抽籤で一名に進呈。

〒606-8445　京都市左京区永観堂48　電話075(761)0007
浄土宗西山禅林寺派宗務所

みかえり　第343号

南無阿弥陀佛
佛のみ名と思いしに
唱うる人の姿なりけり
西山上人

「翔・優・輝・翼」「美・凛・葵・彩」これらは平成十七年に生まれた赤ちゃんの名前で、最も人気のあった漢字です。

名前はこの世に生を受けた証しです。命名には親の願いと子に対する夢や希望が託されています。この漢字にも、そこから受ける印象や語感に込められた親の願いが伝わってきます。

南無阿弥陀佛は、佛様の名前です。そこには、私たちを一人残らず浄土に迎え取ろうとする佛様の願いが込められています。佛さまと私が一つに結ばれた名前なのです。

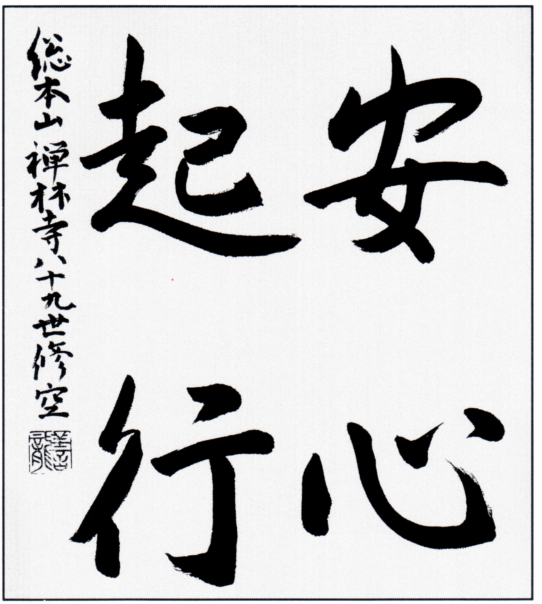
総本山　永観堂　禅林寺

右の色紙は**管長 小木曽善龍猊下のご染筆**です。前々号の色紙は、滋賀県大津市在住土岐芳江様に贈呈いたします。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年齢明記の上、下記へお申し込み下さい。三月十五日に、抽籤で一名に進呈。

〒606-8445　京都市左京区永観堂48　電話075(761)0007
浄土宗西山禅林寺派宗務所

みかえり　第344号

安心起行



シルバーパワーが見直されている。
学童安全パトロール、
地域の防犯パトロール、
街角の清掃、植木の手入れ、
孫の子守、
若いお母さんの育児相談、
買い物補助に、介護のお手伝い、
病院の送り迎え、
ご近所の底力というそうな。
地域に目を向ければ、私にもできることが沢山ある。
すべてこれ阿弥陀様のお手伝い、
お念仏を実践する手立てだ。
うれしいではないか、こんな私でも皆の役に立てるなんて。

総本山　永観堂　禅林寺

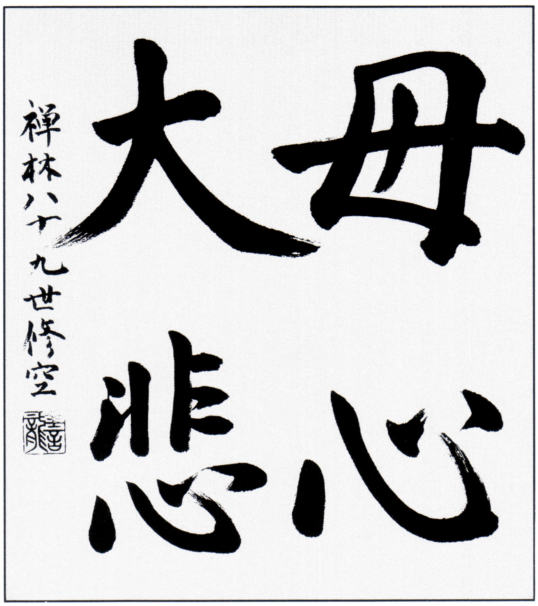
右の色紙は**管長小木曽善龍猊下のご染筆**です。前々号の色紙は、北海道札幌市在住西田堅一様に贈呈いたします。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年齢明記の上、下記へお申し込み下さい。四月十五日に、抽籤で一名に進呈。

〒606-8445　京都市左京区永観堂48　電話075(761)0007
浄土宗西山禅林寺派宗務所

みかえり　第345号

母に悲恩あり

父母恩重経



昭和五十五年の歌会始のお題は「桜」。その年、美智子皇后の詠まれた歌があります。

風吹けば幼き吾子を玉ゆらに
　明るくへだつ桜ふぶきは

この「幼き吾子」とは、紀宮さまの幼い時を回想されたものです。風が吹いて、桜の木の下で遊んでいる愛らしいわが子を、桜吹雪がほんのわずかの間だけ隠してしまう。

桜の花に託したわが子への愛情あふれる美しい調べの歌です。母心の中には仏の大悲の心が宿っていることを、この歌から読み取ることができますね。

総本山　永観堂　禅林寺

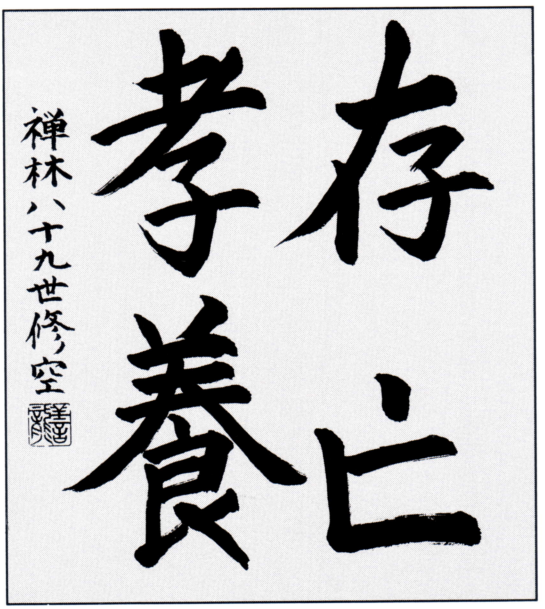
右の色紙は管長 小木曽善龍猊下のご染筆です。前々号の色紙は、兵庫県加古川市在住清田　幸様に贈呈いたします。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年齢明記の上、下記へお申し込み下さい。五月十五日に、抽籤で一名に進呈。

〒606-8445　京都市左京区永観堂48　電話075(761)0007
浄土宗西山禅林寺派宗務所

みかえり　第346号

極楽は　佛を念じている
者の心の中にもある

観無量寿経



おじいさんが亡くなり、お墓へ納骨の日のことでした。

そのお孫さんが、ふざけ合っていました。

笑っている二人にお母さんが、「納骨なのに笑うなんて、不謹慎ですよ。」と、いさめました。

見ていたおばあさんは、「おじいさんは、あなた達の笑い声が好きだったのよ。あなた達の笑う姿を極楽から見ていて、喜んでいるに違いないわ」と、言いました。

亡くなった方は、佛さまとなって、私たちの心に、ずうっと生きているのです。

総本山　永観堂　禅林寺

右の色紙は管長 小木曽善龍猊下のご染筆です。前々号の色紙は、兵庫県高砂市在住歌井昭夫様に贈呈いたします。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年齢明記の上、下記へお申し込み下さい。六月十五日に、抽籤で一名に進呈。

〒606-8445　京都市左京区永観堂48　電話075(761)0007
浄土宗西山禅林寺派宗務所

みかえり　第347号

一文不知の愚鈍の身になして

法然上人『一枚起請文』

あなたが
心の救いを
求めているのなら
理屈を
封印なさい
こだわりを
捨てなさい
そして
念佛を
申しなさい

総本山　永観堂　禅林寺

右の色紙は管長小木曽善龍猊下のご染筆です。前々号の色紙は、兵庫県高砂市在住糟谷光子様に贈呈いたします。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年齢明記の上、下記へお申し込み下さい。七月十五日に、抽籤で一名に進呈。

〒606-8445　京都市左京区永観堂町48　電話075（761）0007
浄土宗西山禅林寺派宗務所

みかえり　第348号

恩を知るを人と名づけ
恩を知らざれば畜生と名づく

法然上人

「泣くのは独りでもできるけれど、笑うのは独りではできないよ」

これは病の床にある母が、十七歳の長男に家族のことを託したひとことです。

親が子を殺したり、子が親を殺したり、殺伐とした報道が続く昨今です。この母のひとことは、一緒に笑ってくれる親子や家族の存在が絆（きずな）の原点であることを改めて教えてくれています。その絆は、命をかけがえのないものと思う気持ちで結ばれています。恩とは、私たちの命の根源を愛する心です。

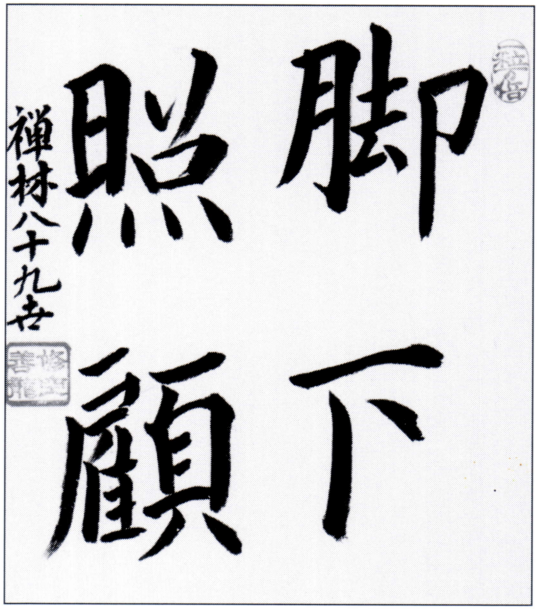
総本山　永観堂　禅林寺

右の色紙は管長小木曽善龍猊下のご染筆です。前々号の色紙は、兵庫県宍粟市の中瀬幸歳様に贈呈いたします。ご希望の方はハガキで住所・氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。八月十五日に抽籤致し一名に進呈。

〒606-8445　京都市左京区永観堂町48　電話075（761）0007
浄土宗西山禅林寺派宗務所

みかえり　第349号

脚下照顧



「ウォーキング」と「歩く」。よく似ています。どちらも、さわやかな空気を吸って、自然を感じることができます。

ウォーキングは、スポーツです。前に前に進む運動です。

歩くというのは、ウォーキングとは違います。「少し止まる」のが、歩くという字ですから、進みながら、ときどき止まってみるのです。

ときどき止まってみると、足元に咲く花に気づいたり、自分の足跡をふりかえったりできます。

人生も、ときどき止まってみるのも、いいかもしれません。進みっぱなしの人生では、見えないものが多すぎます。人生には、歩みのほうが似合います。

総本山　永観堂　禅林寺

右の色紙は管長小木曽善龍猊下のご染筆です。前々号の色紙は、兵庫県加古川市の杉本茂子様に贈呈いたします。ご希望の方はハガキで住所・氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。九月十五日に抽籤致し一名に進呈。

〒606-8445　京都市左京区永観堂町48　電話075（761）0007
浄土宗西山禅林寺派宗務所

みかえり　第350号

右の色紙は管長小木曽善龍猊下のご染筆です。前々号の色紙は、愛知県海部郡の鈴木薫様に贈呈いたします。ご希望の方はハガキで住所・氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。十月十五日に抽籤致し一名に進呈。

はげむも悦ばし
はげまざるも悦ばし

西山上人「鎮勧用心」

学びなさい
励みなさい
努力できることは
悦ばしきことです
しかし
どうしても
励めない
頑張れないからといって
気に病むことはないのです
すでに
わたしたちは
弥陀に
救われることを
約束された身だからです
それが念佛者
ありがたいことです

総本山　永観堂　禅林寺

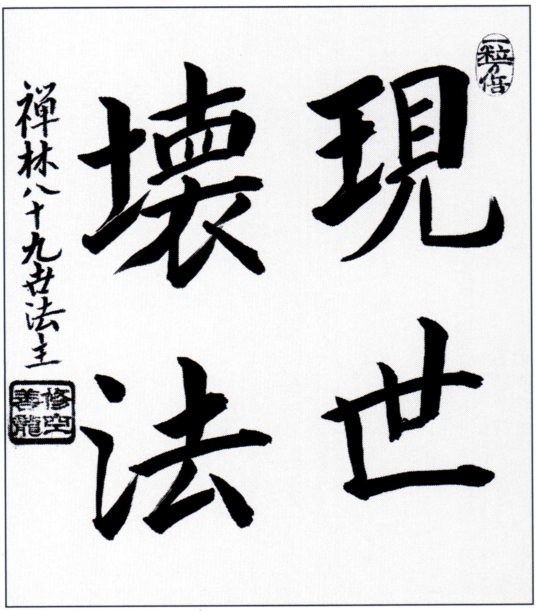
〒606-8445　京都市左京区永観堂町48　電話075（761）0007
浄土宗西山禅林寺派宗務所

みかえり　第351号

因縁

すべて縁によって生じ、
縁によって滅びるのである。

『勝鬘経』



データを蓄えていくパソコンのように、私に残った記憶が「私」になるのでしょうか。
記憶が消えたら、私も消えてしまうのでしょうか。
電源を入れるように生命が始まり、コンセントを抜くように人生が終わるのでしょうか。
周りの影響によって、個性と性格を作ったのでしょうか。
私の人柄は、他人が言い当てる通りの人物でしょうか。
私が生きている証しは、私のなかに在ります。
それが、いのちです。いのちが私を生かしています。いのちが私のなかに生きているのです。

総本山　永観堂　禅林寺

右の色紙は管長小木曽善龍猊下のご染筆です。前々号の色紙は、岐阜県岐阜市の小俣鈴子様に贈呈いたします。ご希望の方はハガキで住所・氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。十一月十五日に抽籤致し一名に進呈。

〒606-8445　京都市左京区永観堂町48　電話075（761）0007
浄土宗西山禅林寺派宗務所

みかえり　第352号

抜苦与楽

佛の慈悲は、苦しみを抜き楽を与えたもう

胸に刺さった、
苦しみのとげを、
抜いて差し上げましょう。

傷が癒える、
良く効く薬を
塗って差し上げましょう。

そして、
あなたのために、
あなたと共に、
念佛を申しましょう。

総本山　永観堂　禅林寺

右の色紙は管長小木曽善龍猊下のご染筆です。前々号の色紙は、京都市西京区の山下チカ子様に贈呈いたします。ご希望の方はハガキで住所・氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。十二月十日に抽籤致し一名に進呈。

〒606-8445　京都市左京区永観堂町48　電話075（761）0007
浄土宗西山禅林寺派宗務所

みかえり　第353号

往生浄土

「ええ所に生まれてや」

駆けつけて下さったおばあさん達が亡くなった祖母の頬に涙を落とし、口々にそう言っておられました。

往生とは決して人の死を美化して言う言葉ではありません。私達凡夫の願いであり、阿弥陀様の願いです。形ばかりの言葉ではありません。必ず私は往きます。疑う時もあるでしょう。心が揺れることもあるでしょう。

でも必ず私も往きます。

総本山　永観堂　禅林寺

右の色紙は管長小木曽善龍猊下のご染筆です。前々号の色紙は、兵庫県たつの市の小林和生様に贈呈いたします。ご希望の方はハガキで住所・氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。一月十五日に抽籤致し一名に進呈。

〒606-8445　京都市左京区永観堂町48　電話075（761）0007
浄土宗西山禅林寺派宗務所